進路指導だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第７号
平成２９年２月２７日発行

学校を卒業して社会へ

今年度も卒業の日まで、あとわずかとなりました。そこで、今回の進路だよりでは、高等部卒業生Ｉさんの実際の生活を紹介します。「こんな生活をしているんだ」「２つの事業所を利用しているのか」などと感じたことが、お子さんの将来の生活を考える上での一助となればと思います。また、裏面では各学部において次のステップへ進むための取組や流れ、ポイントについて紹介します。

月	Ａ事業所（軽作業等）
火	Ｂ事業所（入浴、余暇活動）、Ｃ病院（リハビリ）
水	Ａ事業所（軽作業等）
木	Ｂ事業所（入浴、余暇活動）、Ｄ病院（リハビリ、受診）
金	Ａ事業所（軽作業等）
土・日	家でゆっくり

７：００　起床、朝食

↓

８：００　準備（ひげそり、歯みがきなど）

↓

９：１０　自宅から送迎のワゴン車に乗り、出発

↓　　↓

（月）（水）（金）　Ａ事業所へ　　**（火）（木）　Ｂ事業所へ**

この日は、Ａ事業所の畑で育てた豆の選別を行っています。選別されたものは、その後お菓子などに加工して販売されたり、行事などの際に自分たちで食べたりしているそうです。
きらりの先輩はもちろん、他校出身の仲間とも協力して作業をしたり、仲良く行事を楽しんだりしています。

Ｂ事業所では、上記のリフトを使用して入浴しています。
また、パソコンを使った余暇活動に取り組んでいます。夏の竿灯の期間には地域の竿灯会が事業所を訪れて演技してくれ、利用者みんなで楽しみました。

１６：００頃帰宅。自宅で余暇を楽しみ、夕食を食べ、２２：３０頃寝ます。

小学部版

小学部からの進路

「進路」の疑問にお答えします

「『進路』と言われてもよく分からない…」「高等部卒業ってずっと先だから…」と感じている保護者の皆さんはたくさんいると思います。

そこで、今回は進路の様々な疑問や不安の中から「中学部への進学」について取り上げ、本校の中学部の取組について御紹介したいと思います。

不安…

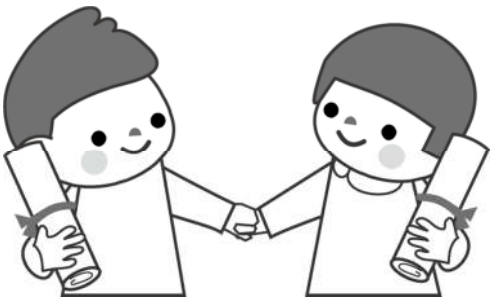
小学部を卒業して中学部になっても楽しく過ごせるかな。先生たちも変わるしちょっと心配…。

きらり支援学校中学部では、中学部での活動を十分に理解してもらえるように、様々な取組を実施しています。

①中学部説明会

本校の中学部の学習や特色について、保護者の皆さんを対象に説明します。

※今年度は１２月２日に実施しました。



授業見学・体験学習

- 中学部の学習について見学や体験を行います。
- 小６の子どもたちは、中学部の授業に小学部の担任の先生と一緒に参加します。

②体験入学・入学説明会

- 小６の皆さんが中学部での生活に期待感がもてるよう、中学部の授業を体験します。
- 保護者の皆さんには、本校の中学部入学へ向け必要なことを説明します。
- 中学部の職員は一緒に学習して、小６の子どもたちのことを知り、中学部で充実した活動ができるように、準備します。

※今年度は２月１４日に実施しました。

このように、中学部では小学部の皆さんが安心して進学できるような取組を行っています。

小学部でも、様々な学習を通して中学部入学への期待感が高まるような学習を行っていきます。

☆進路についての疑問や不安はありませんか？
どんなことでもいいので、ぜひ担任の先生にお話しください。
今後、進路指導だよりの中で取り上げていきたいと思います。

【中学部版】

中学部での進路

本校高等部への進学について

進路学習（中１～３）

・見学（高等部前期校内実習、県立図書館・ラベル貼り体験）
・校外学習（フレッシュワーク AKITA、ハピキャリキットを使った職業調べ）
・高等部交流（１組、高等部紹介）
・総合的な学習の時間（職業調べ、くるみボタン作り）

面談（中１～３・個別面談週間他）

・進路希望の確認をします
・進学するのか？どこにするのか？
・将来、どのように生活したいか？
・なぜ進学するのか？
・高等部での学習グループは？
上記のような様々なことを担任と確認・相談します。

※不安な事や知りたい事などをお伝えください。

教育相談（中３・１０～１１月）

・本人と保護者へ高等部の教育課程や学校生活について、詳しく説明したり
ご家庭や学校の様子を伺ったりします。教頭と高等部主事が対応します。

※相談内容によって早い時期の対応も可能です。

授業見学・体験学習（中３・１２月）

・高等部の授業を見学できます。また、体験学習では高等部の生徒と一緒に
学習します。

※随時、受け付けています。

＜今年度のスケジュール＞　※平成２８年度の期日です。

・入学願書受付（１月１３日～２３日）
・入学者選考　（３月３日）
・合格発表　　（３月１０日）

受験本番を万全な体調で迎えられるよう生活リズムを整えていくことが大切です。

○中学部生活３年間で「高等部で学びたいこと」「社会参加のためにどんな力を身につけたいか」を明確にすることが大切です。

【高等部版】

卒業後の進路が決定するまで（障害福祉サービス利用）

本校高等部卒業生の進路で最も多いのが、『障害福祉サービス』を利用するケースです。一連の流れやそれぞれのポイントとなることを紹介します。

《情報収集》

《家庭で相談》 ⇔ **《学校との面談》**

次のような視点で考えるとよいと思います。例えば…
- 生活の場所（通所か入所）と事業所の場所
- 仕事（活動）内容
- 施設設備　＊すべての事業所がバリアフリー環境、身障者用トイレ等が整っているわけではありません。
- サービス内容（入浴、送迎、食事など）
- 給料（工賃）
- 定員と空き状況

↓

《見学》利用するという想定の下、上記の視点で見学して、いろいろと質問するとよいと思います。

↓

《現場実習》本人に合っているか。雰囲気はどうか。事業所の理念はどうか。

↓

《評価》作業（活動）面、コミュニケーション面、自己目標などの観点で評価してもらいます。作業する力、支援の面（職員の手が足りない）、安全面、定員等の理由で、事業所の利用が難しい場合があります。

↓

《方向性を決めます》

双方の考えが合致する場合	実習したら、思っていたのと違う場合	希望が叶わない場合
事業所「利用できる」 生徒「利用したい」	事業所「利用できる」 生徒「希望しない」	事業所「利用は難しい」 生徒「利用したい」
↓	↓	↓
利用を前提に実習を重ねる。	再検討、情報収集	再検討、情報収集

＊是非お子さんと向き合い、将来に対する思いや心配なことについて語り合う時間を作ってください。知りたいこと等がありましたら、担任や進路指導主事（宮野）にお話しください。